

知っているようで知らない精華町
その魅力を再発見するタブロイド。

みづる

seika



精華町のいちごには、作り手たちの
手間暇と愛情がつまっています。
広いハウスでは果実が次々と熟し、
あなたの手で摘まれるのを待って
います。
豊かないちごスイーツの数々も目移
りが止まりません。
あなたのとっておきは、どのひと皿？

どうしてこんなに可憐なのでしょう！
太陽の輝きを映したような真っ赤な
果実。
ひと粒ほおれば、プチプチと心地よ
く弾け、甘い幸せに満たされます。
こどもたちもいちごに夢中です。
農園で実を摘み取り、頬を膨らませてモ
グモグする表情も愛くるしいですね。
早春から初夏にかけて、いまでは比較的
容易に手に入る、精華町産の朝採りい
ちご。

しかし、町を代表するフルーツになるま
でには、多くの人の努力がありました。
白い花咲くハウスを訪ねて、町のいち
ご物語を味わえば、あなたもこの
キュートな乙女たちがもっと愛しく
なるはずです。店頭に並ぶいちごもな
んだか誇らしげです。
いちごの魅力を多彩に引き出すス
イーツ職人が集まっているのも精華
町の自慢ですね。
ときめきのひと粒を求めて、街の
ショップを巡ってみましょう。

華やぎ観光農園



本文はこちらのQRコードから
オンラインでもご覧頂けます。



精華町観光PRキャラクター ©おおえさき
「けいちゃん・はんちゃん・なあちゃん」



年、ハウス1棟から観光農園が始まり、
り返ります。試行錯誤を経て、2009
が、夢と力にあふれていました」と振
かった。世間でいえばシルバー世代だ
もいたが、多様な職種の未経験者も多
りの15人ほど。兼業農家やJA出身者

春富さん(75)は「仲間は定年退職したばかりの15人ほど。兼業農家やJA出身者が、1990年代には後継者難で途絶える寸前でした。そこで、地域の有志団体(谷北稲八間区水田活用協議会、現在は農業生産法人)が再生に立ち上がります。園長の山田

「華やぎ観光農園」のスタートには農業振興を願う地域の物語がありました。
以前は盛んだった町内のいちご栽培ですが、1990年代には後継者難で途絶える寸前でした。そこで、地域の有志団体(谷北稲八間区水田活用協議会、現在は農業生産法人)が再生に立ち上がります。園長の山田

高設栽培なので棚からいくつもの葉柄が垂れ下がり、こどもたちは目の前で熟した実を探して、摘むことができます。農園のいちごは現在、あきひめ(章姫)、紅ほっぺ、恋みのり、よつぼしの4種類。主にいちご狩りで活躍するのは甘味たっぷりの「あきひめ」です。果皮が柔らかいため、摘んでそのままほおばれば、ジューシーな果汁が口いっぱいに広がります。

いちご狩りができる農園のひとつ、
「華やぎ観光農園」を訪ねました。
4万株が栽培される計60アールの
ハウスには、甘い香りが満ちています。
いちご狩りは5月まで続き、その日の
収穫に最適なハウスに案内してくれます。

華やぎ観光農園

- 【事務所・直売所】精華町下鉾鐘付田31
【いちご狩り受付】下鉾明法寺50-1
- 開園:火、水、木、土、日(予約制)
- 1日5回 午前10時、11時、
午後1時半、2時半、3時半から
各40分間食べ放題
- 大人(中学生以上)1800円
小学生1600円、3歳以上1300円
バリアフリー。団体割引などあり。
開園日は事務所前テントで午前10時から直売も。
- ☎ 0774-93-4811

ひろびろ苺ファーム

- 精華町北稲八間上坪30
- 開園:火、水、土、日、祝(予約制)
- 1日3回 午前10時半、
午後1時半、2時半から
各30分食べ放題
- 大人(中学生以上)1700円
小学生1500円、2歳以上1000円
- ☎ 090-2107-3887

information

令和4年3月5日時点

1. お菓子の工房
がとうぎやらしい
● 桜が丘2丁目8-9
○ 午前9時～午後7時
■ 火曜休
☎ 0774-73-6894

2. ル・パティシエ ヤマダ
● 光台9丁目8-8 I.R.P 1階
○ 午前9時半～午後7時
■ 火曜休
☎ 0774-95-0555

- 御菓子司 松雲堂
● 祝園一丁目5-23
○ 午前9時～午後6時
■ 水曜休
☎ 0774-94-2339

3. 御生菓子司 ふたば
● 祝園西1丁目40-4
○ 午前9時～午後7時
■ 月曜休(祝日の場合水曜)
☎ 0774-29-4529

- パティスリー 華
● 祝園西1丁目2-5
○ 午前9時半～午後8時
■ 水曜休
☎ 0774-94-9292

- ポエム洋菓子店
● 祝園杉本9
○ 午前9時半～午後7時
■ 火曜休
☎ 0774-93-0399

- パティスリー
ル・フルティエ
● 祝園西1-9-46
○ 午前9時半～午後8時
■ 不定休
☎ 0774-95-0809

『おいしい』の
言葉も力になります



町内では2017年、「ひろびろ苺ファーム」も開園しました。こちらは昔ながらの土耕栽培のハウスもあります。
ぜひ、ふるさとが育んだひと粒をあなたの手で摘み取ってください。

スイーツショップのショーケースも、この時期はいちご色に染まります。パティシエはアイデアと腕をかけて、次々とスイーツを誕生させています。
ル・パティシエ ヤマダ には「苺の森」「苺のタルト」をはじめ10種類以上のいちごスイーツが。「赤は美味しさの色。チーズやチョコとも相性が良く、可能性は無限です」
お菓子の工房 がとうぎやらしい も「いちごのフロマージュ」「ベリーベリーティラミス」などいちご尽くしです。「とにかくかわいい。こどもたちが真っ先に選ぶのがいちごのケーキです」

町内の「いちご制覇」
まだまだ楽しめ
そうですわね!



いまでは大小11のハウスが並び、町内屈指の観光スポットに成長しました。
数年前には若い担い手も入社しました。
最年少の井上拓さん(28)は農園でのボランティアを経て、異業種からのチャレンジ。栽培は気候にも左右されながら、春から夏は苗場での育苗、秋の植え替えなど1年がかりです。でも「世話した分だけ、良いいちごが実る。新しい技術も採用しながら、安心安全ないちごづくりを試みています。」と井上さんは笑顔です。



苺の森



3.

いちご大福



精華町観光ポータルサイトから、
まちの魅力をみつけてください!